

大和町立吉岡小学校外構工事

図 面 リ ス ト	
図 面 番 号	外 構 図
G - 0 1	建築工事特記仕様書 1
G - 0 2	建築工事特記仕様書 2
G - 0 3	現況図・案内図
G - 0 4	外構図
G - 0 5	グラウンド改修図
G - 0 6	グラウンド暗渠排水施設図
G - 0 7	グラウンド詳細図
G - 0 8	遊具詳細図 - 1
G - 0 9	遊具詳細図 - 2
G - 1 0	遊具詳細図 - 3
G - 1 1	雑詳細図
G - 1 2	物置詳細図
G - 1 3	仮設計画図
図 面 番 号	電 気 設 備 図
E - 0 1	電気設備工事特記仕様書
E - 0 2	電灯設備工事 1 階平面図

令和 7 年 6 月

 株式会社 桂設計

建 築 工 事 特 記 仕 様 書 【令和7年4月版】		⑧．建築材料等		材料の品質等 (1.4.2)		金属工事		1．屋外雨水排水		材料 (21.2.1、2)(表 21.2.1、2)	
工 事 概 要				本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。		左官工事 建員工事		21 排水工事		材種	
1 工事番号・名称 大和町立吉岡小学校外構工事										種類・記号	
2 工 事 場 所 大和町 吉岡										形状	
3 用途地域等				環境への配慮 (1.4.1)		カーテンウォール工事				呼び径	
都市計画区域(○ 内 ・ 外) 用途地域(第二種中層住居専用地域)				本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。		塗装工事				・図示による	
防火地域等(・ 防火 ・ 準防火 ・ 指定なし ○ 2.2条)						内装工事		・プラスチック系床仕上工事作業 ・ボード仕上工事作業		・図示による	
その他の地域・地区()											
4 主 要 用 途 小学校											
5 敷 地 面 積 20,077.14 m ²											
6 工 事 の 概 要											
校庭整備工事											
7 別 途 工 事											
8 そ の 他		原則、宮城県土木部「週休2日工事」実施要領に基づき工事を行う									
9 特記仕様書の範囲				9．室内の空気中の化学物質濃度の測定 (1.5.9)		14．完成図等					
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。				試験採取及び測定は、厚生労働省の「室内空气中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。		営繕工事完成引渡要領(令和7年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課)により作成する。					
・ 構造特記仕様書 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書						白焼縮小(A 3 版) 2 つ折製本 2 部					
・ 解体工事特記仕様書 ○ 電気設備工事特記仕様書 ・ 機械設備工事特記仕様書						完成図面 JWW形式又はDXF形式のCADデータ DVD-R等 2 部					
建 築 工 事 仕 様				測定対象物質		作成する ・ 作成しない					
1. 共通仕様				ホルムアルデヒド(濃度指針値 100 μg/m ³ ・ 0.08ppm)		営繕工事写真撮影要領により、完成前に添付する完成写真とは別に次のものを原本(電子媒体)とともに監督職員に提出する。					
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という。)による。ただし、標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)				スチレン(濃度指針値 220 μg/m ³ ・ 0.05ppm)		なお、原本は、DVD-R等で提出すること。					
「改修標準仕様書」という。)				トルエン(濃度指針値 260 μg/m ³ ・ 0.07ppm)		分 類					
及び「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。				キシレン(濃度指針値 3,800 μg/m ³ ・ 0.88ppm)		カラー					
2. 特記仕様				測定する室等:()		・ 2 L					
1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。				採取方法:吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。		・ 六切り					
2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は ○印のついたものを適用する。○印と○印のついた場合は、共に適用する。						撮影箇所数					
3) 特記事項に記載の()、< >及び[]内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。						部 数					
章 項 目 特 記 事 項				測定結果等報告書の提出		提出様式					
①．一般事項		○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上、指示に従うこと。		次の事項を記載した報告書を1部提出する。		工事中写真写真撮影要領(令和7年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課)により作成する。					
○ 受注者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。				a 測定結果		施工範囲					
○ 施工体系図を現場に提示すること。				b 試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内)、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数)		施工図					
・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。				c 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器		設備機器の位置、取り扱い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。					
工事に伴う環境調査要領 平成28年4月(東京都建設局編集)による調査に先立ち調査計画書を作成し監督職員の確認を受けること						工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。					
調査範囲 図示						保険の種類					
建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号)						保険期間					
宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱						住宅瑕疵担保責任					
建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 令和4年版)						・あり(新築住宅の場合) ・なし(新築住宅以外の場合)					
営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官庁官庁営繕部 令和5年版)及び工事写真撮影ガイドブック<建築工事編及び解体工事編>(国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 令和5年度版)											
建築構造設計基準(国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 令和3年版)											
3. 概成工期		工事工期より 日前 (1.2.1)									
4. 工事実績情報(CORINS)の登録		適用する(請負精算額が500万円以上の場合) (1.1.4)									
受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。											
適用しない											
5. 発生材の処理等		発生材の処理 (1.3.11)									
・ 引渡しを要するもの()											
・ 特別管理産業廃棄物()											
受入れ施設名・所在地(km)											
・ 再生資源化を図るもの											
種 類		受 入 施 設 名		所 在 地 (Km)							
・ セメント											
・ コンクリート塊											
・ アスファルト											
・ コンクリート塊											
・ 建設発生木材											
・ 建設汚泥											
・ 現場において再利用を図るもの()											
・ その他の廃棄物(安定型)()											
受入れ施設名・所在地(km)											
○その他の廃棄物(管理型)(生木類)											
受入れ施設名・所在地(km) (株)丹那9949827 黒川郡大郷町鶴崎字住吉33-4(10.5km)											
上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記に於かない場合は、監督職員と協議すること。											
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること。											
6. 電気保安技術者		適用する (1.3.3)									
適用しない (1.3.9)											
7. 事故報告		工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。(宮城県HP「事故発生報告」参照)									
⑧．建築材料等				9．室内の空気中の化学物質濃度の測定 (1.5.9)		14．完成図等					
				試験採取及び測定は、厚生労働省の「室内空气中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。		営繕工事完成引渡要領(令和7年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課)により作成する。					
				ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定		白焼縮小(A 3 版) 2 つ折製本 2 部					
				測定対象物質		完成図面 JWW形式又はDXF形式のCADデータ DVD-R等 2 部					
				ホルムアルデヒド(濃度指針値 100 μg/m ³ ・ 0.08ppm)		作成する ・ 作成しない					
				スチレン(濃度指針値 220 μg/m ³ ・ 0.05ppm)		なお、原本は、DVD-R等で提出すること。					
				トルエン(濃度指針値 260 μg/m ³ ・ 0.07ppm)		分 類					
				キシレン(濃度指針値 3,800 μg/m ³ ・ 0.88ppm)		カラー					
				測定する室等:()		・ 2 L					
				採取方法:吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。		・ 六切り					
						撮影箇所数					
						部 数					
						提出様式					
						工事中写真写真撮影要領(令和7年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課)により作成する。					
						施工範囲					
						施工図					
						設備機器の位置、取り扱い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。					
						工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。					
						保険の種類					
						保険期間					
						住宅瑕疵担保責任					
						・あり(新築住宅の場合) ・なし(新築住宅以外の場合)					

①．路床

路床の材料 (22.2.2、3、5)(表22.2.1)		
種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種 B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示による
・凍上抑制層	再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂（標準仕様書表21.2.2による）	・図示による
・フィルター層	標準仕様書22.2.3.(3)による	・図示による
（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験） ・行う ・行わない ・路床安定処理 安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰（・特号 1号） ・消石灰（・特号 1号） 添加量 ・ kg/m3（CBR 3以上） ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m²以上 厚さ(mm) ・ 0.5～1.0 引張強さ ・ 98N/5cm（10kgf/5cm）以上 透水係数 ・ 1.5×10⁻¹cm/sec以上 試験 路床土の支持力比（CBR）試験 ・行う 行わない 路床締固め度の試験 ・行う 行わない 現場CBR試験 ・行う 行わない		
路盤の厚さ (22.3.2、3)(表 22.3.1)		
路盤の厚さ ・図示による 路盤材料（標準仕様書表22.3.1による種別） ・クラッシャーラン ・粒度調整砕石 再生クラッシャーラン ・再生粒度調整砕石 ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ		
③．アスファルト舗装 (22.4.2～6)(表 22.4.4)		
アスファルト舗装の構成及び厚さ 図示による 材料 アスファルト ・再生アスファルト （標準仕様書表22.4.1による種類： ・60～80 ・80～100） ・ストレートアスファルト 骨材 ・道路用碎石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 加熱アスファルト混合物等の種類 ・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F) 舗装の平たん性 通行の支障となる水たまりを生じない程度 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う 行わない		

4．コンクリート舗装

コンクリート舗装の構成及び厚さ

(22.5.2～4、6)(表22.5.1、3)

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車路及び駐車場 歩行者用通路	・ 図示による ・ 図示による	・ 図示による 70

材料

コンクリート

普通コンクリート、標準仕様書表22.5.1による

・ 以下による

コンクリートの種類 ()

設計基準強度 (N/mm²) ()

所定のスランプ (cm) (8)

粗骨材の最大寸法 (mm) ()

早強ポルトランドセメント

・ 使用する 使用しない

注入目地材料

低弾性タイプ

高弾性タイプ

目地

標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による

・ 以下による

種類

間隔 ()m程度ごと

構造

・ 図示による

舗装の平たん性

通行の支障となる水たまりを生じない程度

・ 加熱系カラー舗装 (22.6.2～4)

構成・厚さ

・ 図示による

加熱系混合物の結合材

アスファルト混合物

石油樹脂系混合物

顔料の添加量 (%)

添加材

着色骨材 ()

自然石 ()

・ 常温系カラー舗装

工法

・ ニート工法 (配合その他:)

・ 塗布工法 (配合その他:)

着色部の下部

・ アスファルト舗装

・ コンクリート舗装

舗装の平たん性

通行の支障となる水たまりを生じない程度

舗装の構成 (22.7.2、3、6)

・ 図示による

材料

骨材

道路用碎石

アスファルトコンクリート再生骨材

(標準仕様書表22.4.1による種類: ・ 60～80 ・ 80～100)

舗装の平たん性

著しい不陸がないもの

試験

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験

・ 行う

行わない

・ コンクリート平板舗装 (22.8.2、3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
・ 普通平板(N) ・ 透水平板(P) ・ 保水性平板(M)	・ 300角	60	砂 ・ 目地材	表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し

クッション材

砂

空練りモルタル

仕上り面の平たん性

歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。

・ インターロッキングブロック舗装

種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm ²)	備考
普通ブロック(N) ・ 透水性ブロック(P) ・ 保水性ブロック(M)	車路	・ 図示による	80	5.0	表面加工
普通ブロック(N) ・ 透水性ブロック(P) ・ 保水性ブロック(M)	歩行者用通路	・ 図示による	60	3.0	

クッション材

砂

空練りモルタル

仕上り面の平たん性

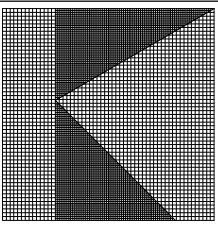
歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする。

8．砂利敷き

・ 舗石舗装					
種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	張り方	基層	基層の厚さ (mm)
・ 花こう岩	・ 割石 ・ 図示による			・ コンクリート版	70
				・ アスファルト混合物	70
クッション材 砂 ・ 空練りモルタル 仕上り面の平たん性 歩行に支障となる段差がないものとし、 舗石間の段差は3mm以内とする。					
・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/㎡以上 厚さ(mm) ・ 0.5～1.0 引張強さ ・ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 ・ 1.5×10^{-1} cm/sec以上					
種別	A種（施工範囲： 図示による B種（施工範囲： 図示による		通路 建物周囲その他		(22.9.2)))
土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・ 行う ・ 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・ 行う ・ 行わない					
樹木の植栽基盤の整備 ・ 適用する ・ 適用しない					
・ 樹木	植栽	工法 A種 樹高12m以上 B種 (100 ・ 120 ・ 150) C種 樹高7m以上～12m未満 D種 (80 ・ 100) 樹高3m以上～7m未満 (60 ・ 80) 樹高3m未満 (50 ・ 60)	有効土層の厚さ (mm)		整備範囲 ・ 葉張り部分 ・ 植栽部分 ・ 図示による
	芝、地被類	B種 20			
土壌改良材 ・ 適用する ・ 適用しない					
植栽基盤の排水設備 ・ 設ける (図示による) ・ 設けない					
現場発生土の良質土 ・ 客土					
種類及び指定量等 ・ バーク堆肥 施工箇所 植栽範囲 ・ 図示による 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・ 50L) ・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) 施工箇所 植栽範囲 ・ 図示による 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・ 10L)					
樹種、寸法、株立数等 図示による					
支柱材 丸太 (間伐材) ・ 真竹 防腐処理方法 加圧式防腐処理丸太材 形式 ・ 図示による					
材料 幹巻き用テープ ・ わら及びこも					
種類 コウライシバ ・ ノシバ 芝張りの工法 平地 目地張り ・ べた張り 法面 べた張り法面 ・ 目地張り					
(23.4.2)					
種子の種類		発芽率		種子の量 (g/㎡)	備考
洋芝類 (採取後2年以内)		発芽率80%以上			
(23.4.2)					
樹種	コンテナ径		単位面積当たりのコンテナ数		芽立数

11．新植、芝等の枯補償、移植樹木の枯損処置

(23.3.4、6) (23.4.7) (23.5.5)		
新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間 引渡しの日から1年 ・無し 移植樹木の枯損処置を行う期間 引渡しの日から1年 ・無し		
12．屋上緑化 (23.5.2～4)		
植栽基盤及び材料 ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・図示による 排水層 ・軽量骨材（層の厚さ： ・板状成形品 植込み用土 改良土 ・人工軽量土 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等 図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 図示による 支柱 ・設置する ・設置しない 形式 ・図示による かん水装置 ・設置する ・設置しない 種類 ・図示による		



特記事項

設計年月日

管理技術者

担当者

作図

工 事 名

大和町立吉岡小学校外構工事

図 面 名

特記仕様書 2

縮 尺

A1: NS

A3: NS

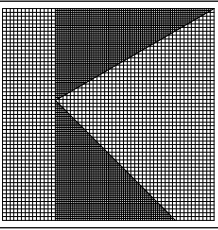
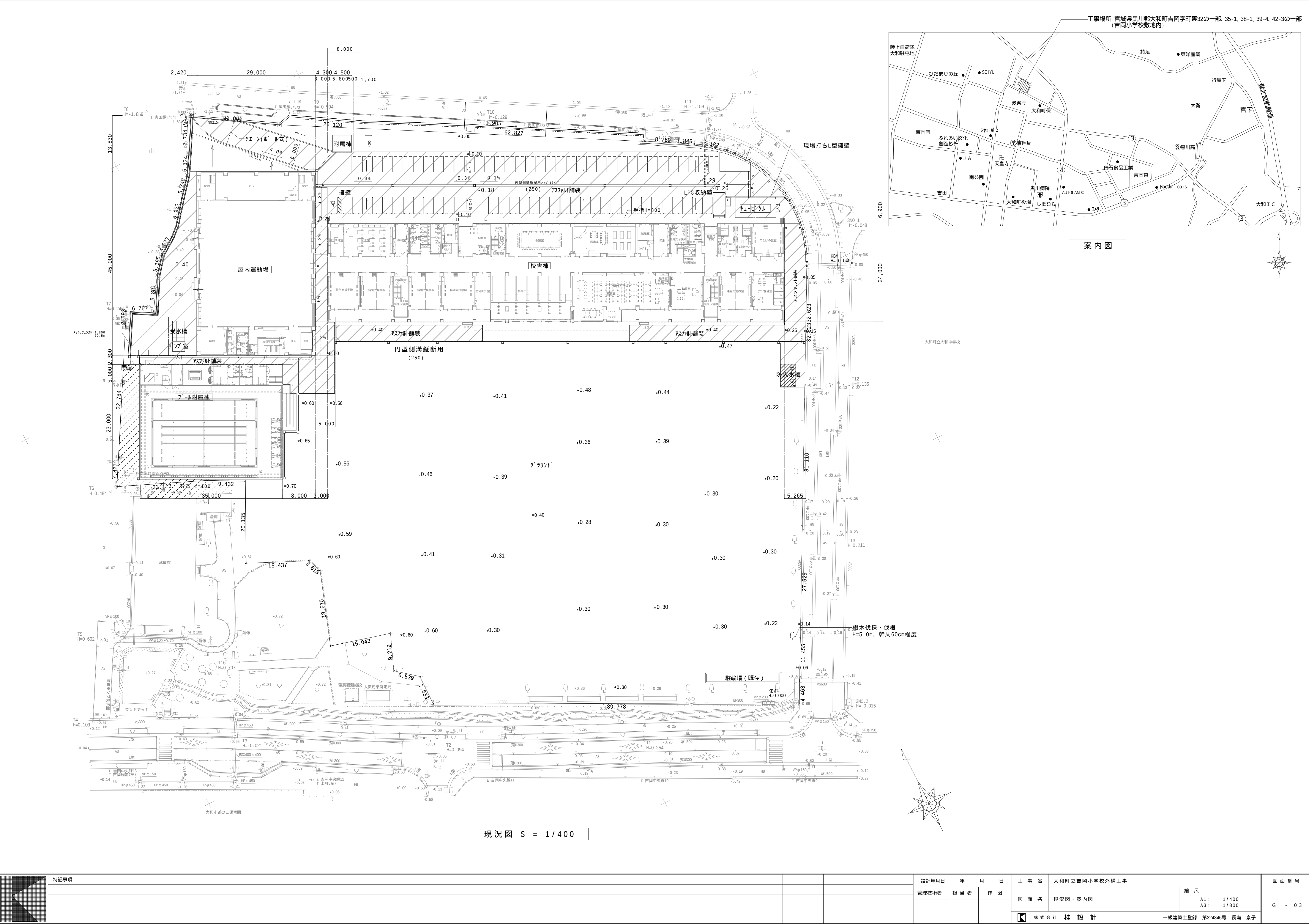
図面番号

G - 02

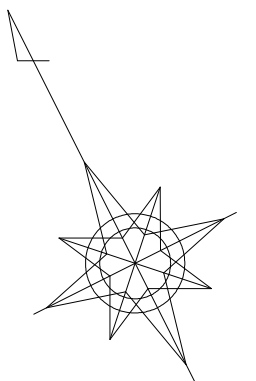
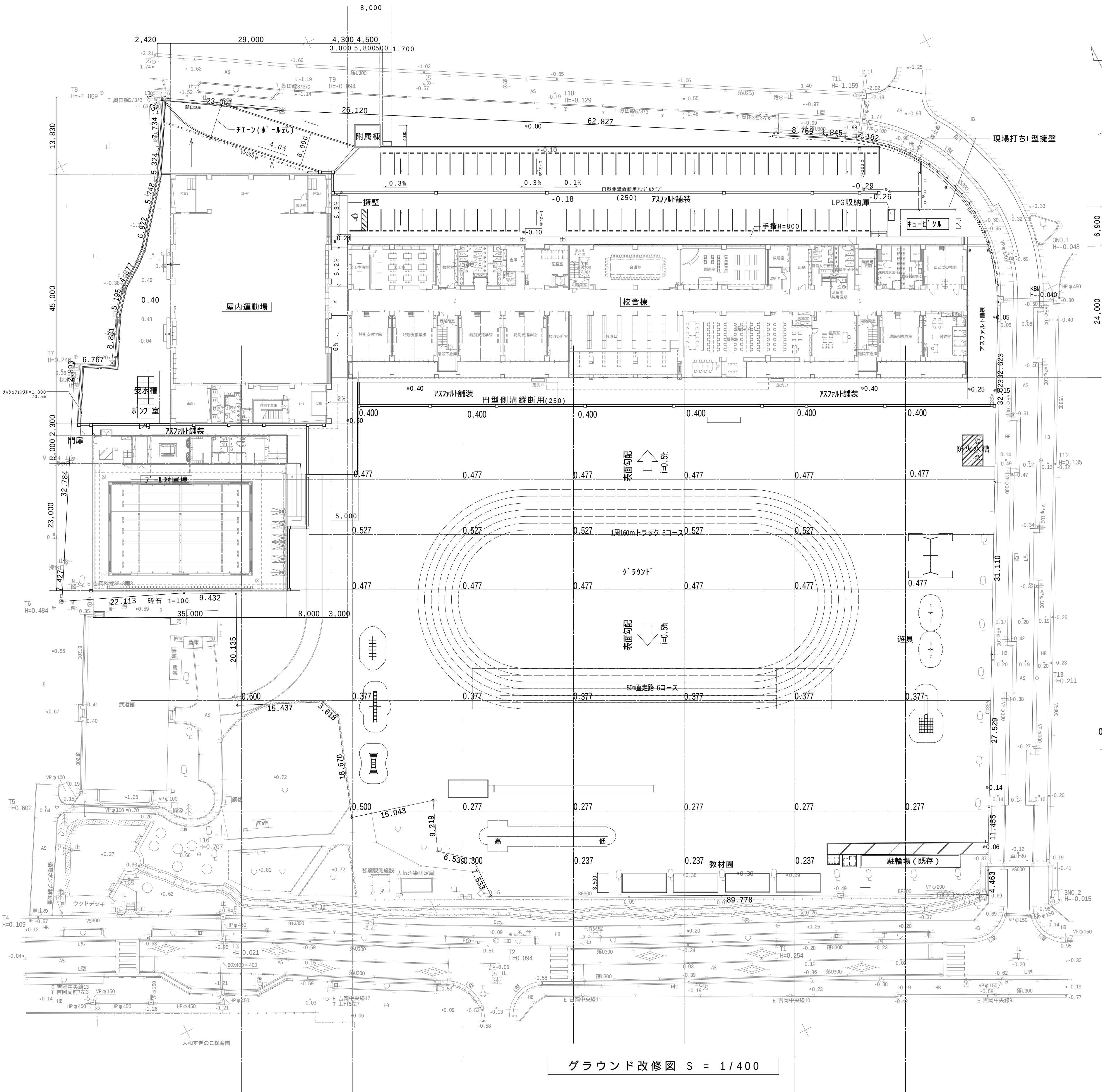


株式会社 桂 設 計

一級建築士登録 第324846号 長南 京子



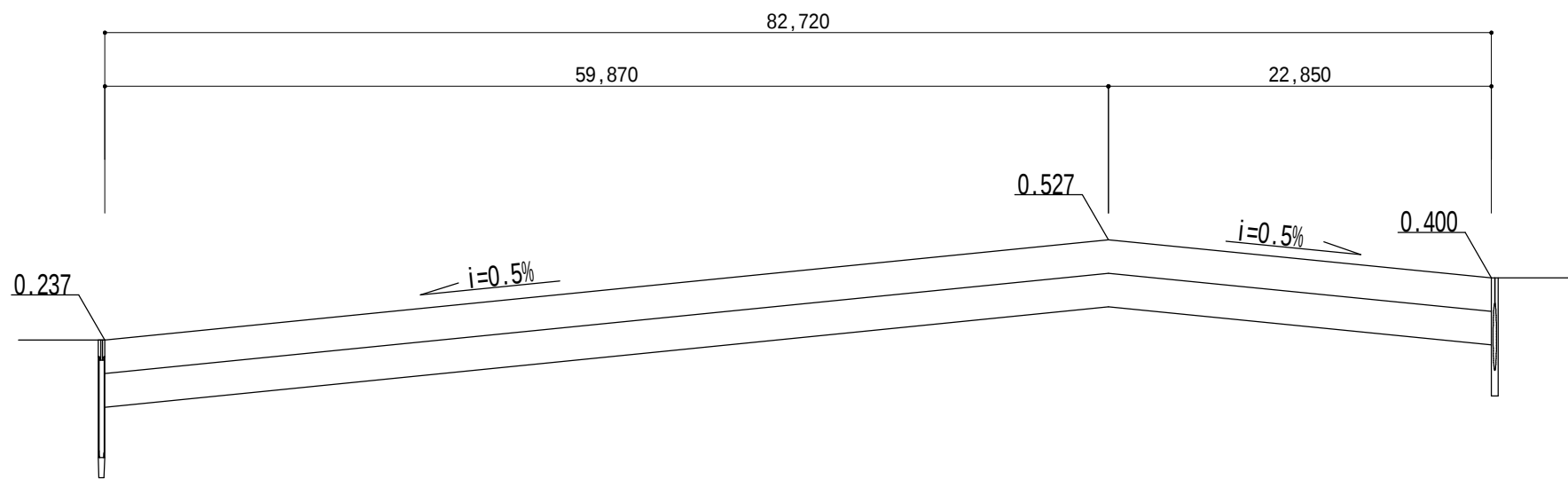
特記事項				設計年月日	年	月	日	工 事 名	大和町立吉岡小学校外構工事			図 面 番 号
				管理技術者	担 当 者	作 図		図 面 名	現況図・案内図	縮 尺	G - 03	
								A1: 1/400 A3: 1/800				
							 株式会社 桂 設 計	一級建築士登録 第324846号 長南 京子				



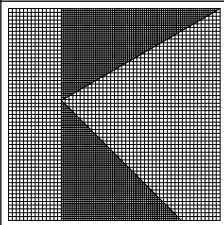
数量表

記号	規格・寸法	数量
	グラウンド舗装	9,909 m ²
	スポーツポイント	55.-ヶ所
	砂場	1.-ヶ所
	踏切板	1.-ヶ所

A-A'断面図 S=1/20 3:1/400



グラウンド改修図 S = 1/400



特記事項

設計年月日

年 月 日

管理技術者

担当者

作 図

工 事 名

大和町立吉岡小学校外構工事

図 面 名

グラウンド改修図

縮 尺

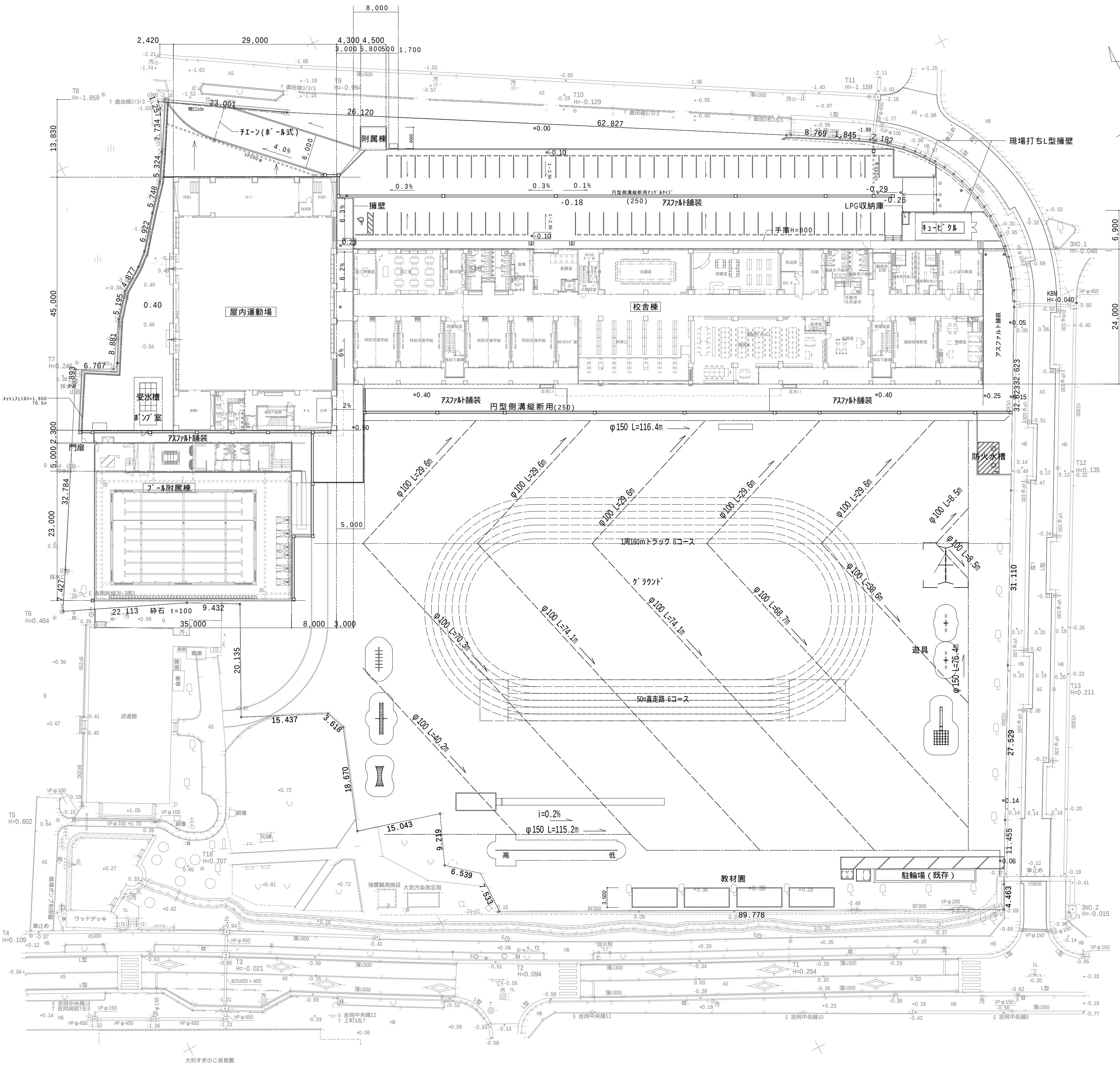
A1: 1/400
A3: 1/800

図面番号

G - 05

株式会社 桂 設 計

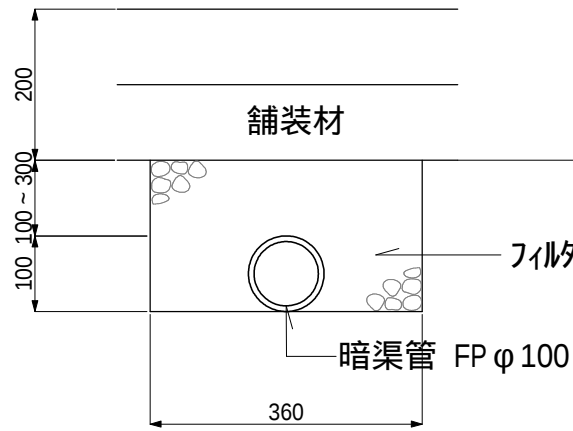
一級建築士登録 第324846号 長南 京子



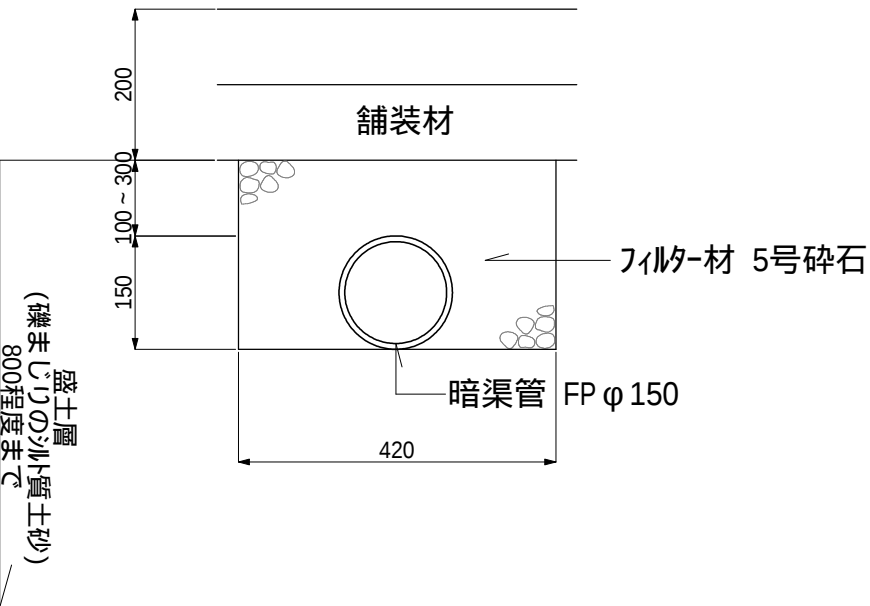
数量表

記号	規格・寸法	数量
----	暗渠排水管 支線φ100	531.0 m
-----	暗渠排水管 幹線φ150	308.0 m

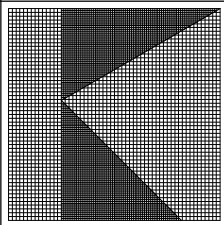
支線断面図 S=1/20



幹線断面図 S=1/20



グラウンド暗渠排水施設図 S = 1/400



特記事項

設計年月日

年 月 日

管理技術者

担当者

作図

工 事 名

大和町立吉岡小学校外構工事

図 面 名

グラウンド暗渠排水施設図

縮 尺

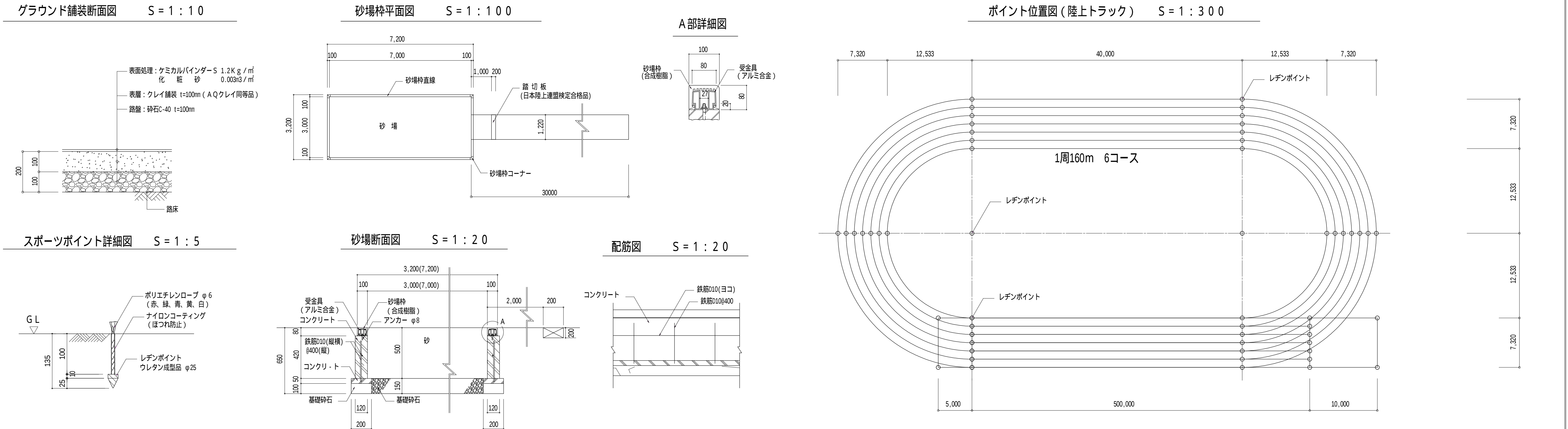
A1: 1/400
A3: 1/800

図面番号

G - 06

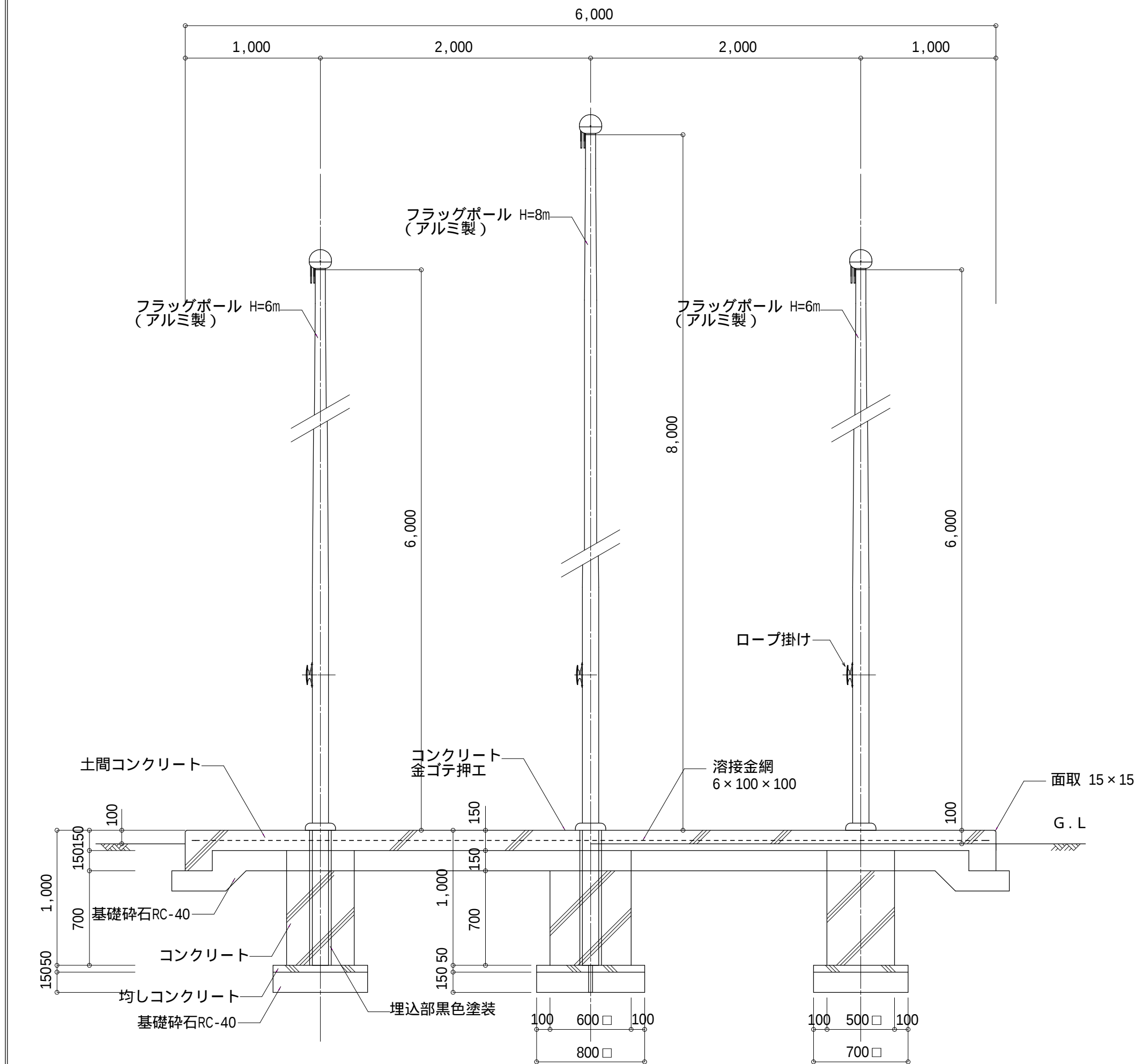
株式会社 桂 設 計

一級建築士登録 第324846号 長南 京子

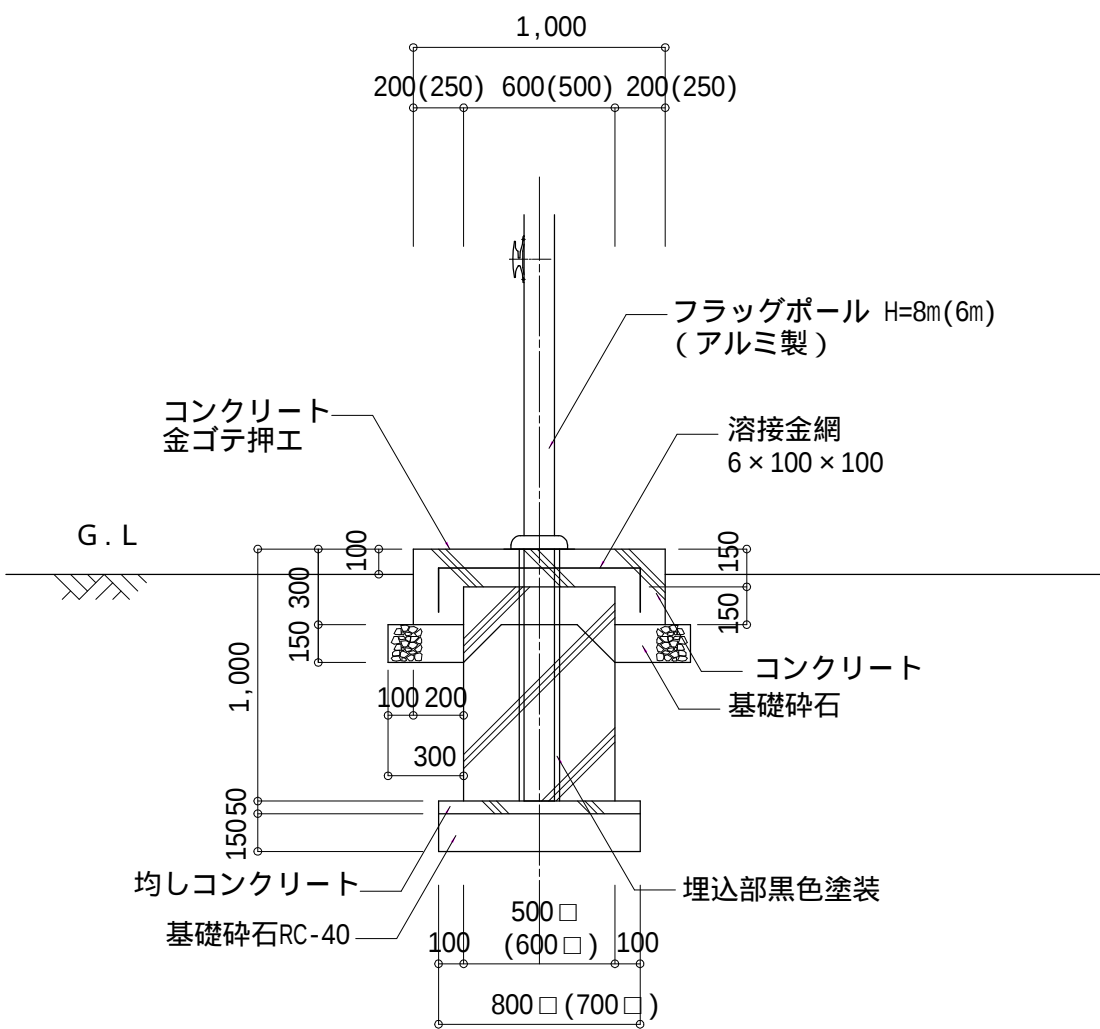


立面図 S = 1 : 3 0

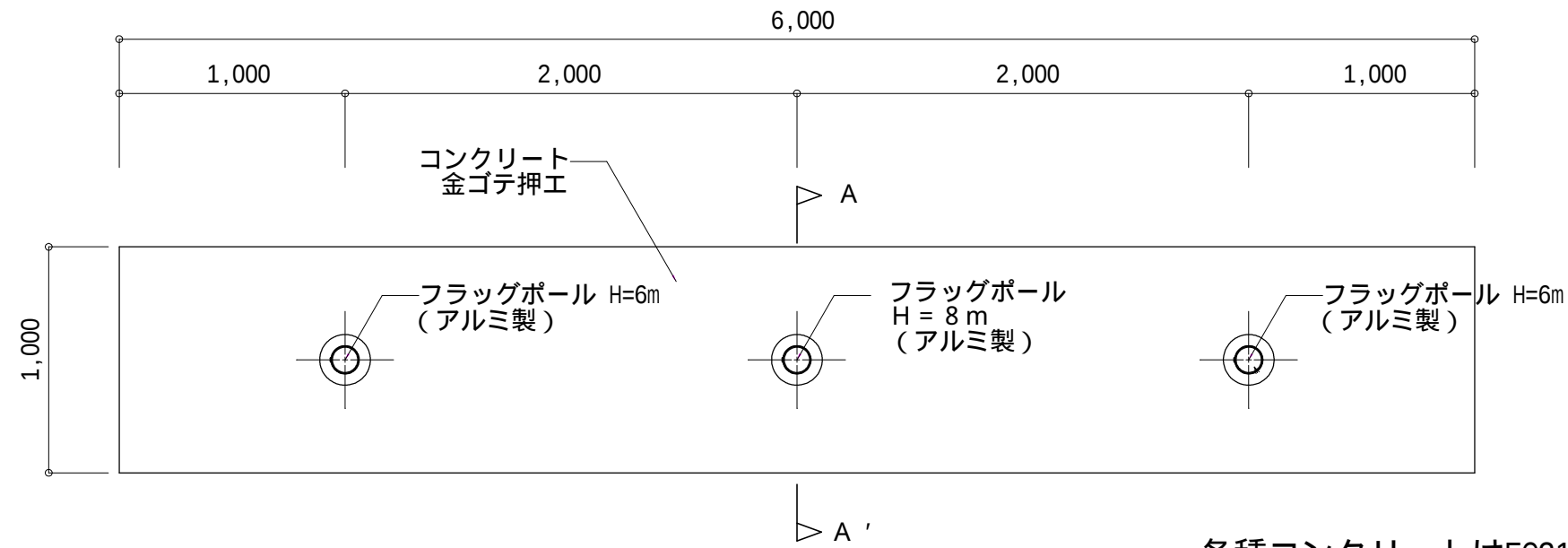
国旗掲揚塔詳細図



A - A ' 断面図

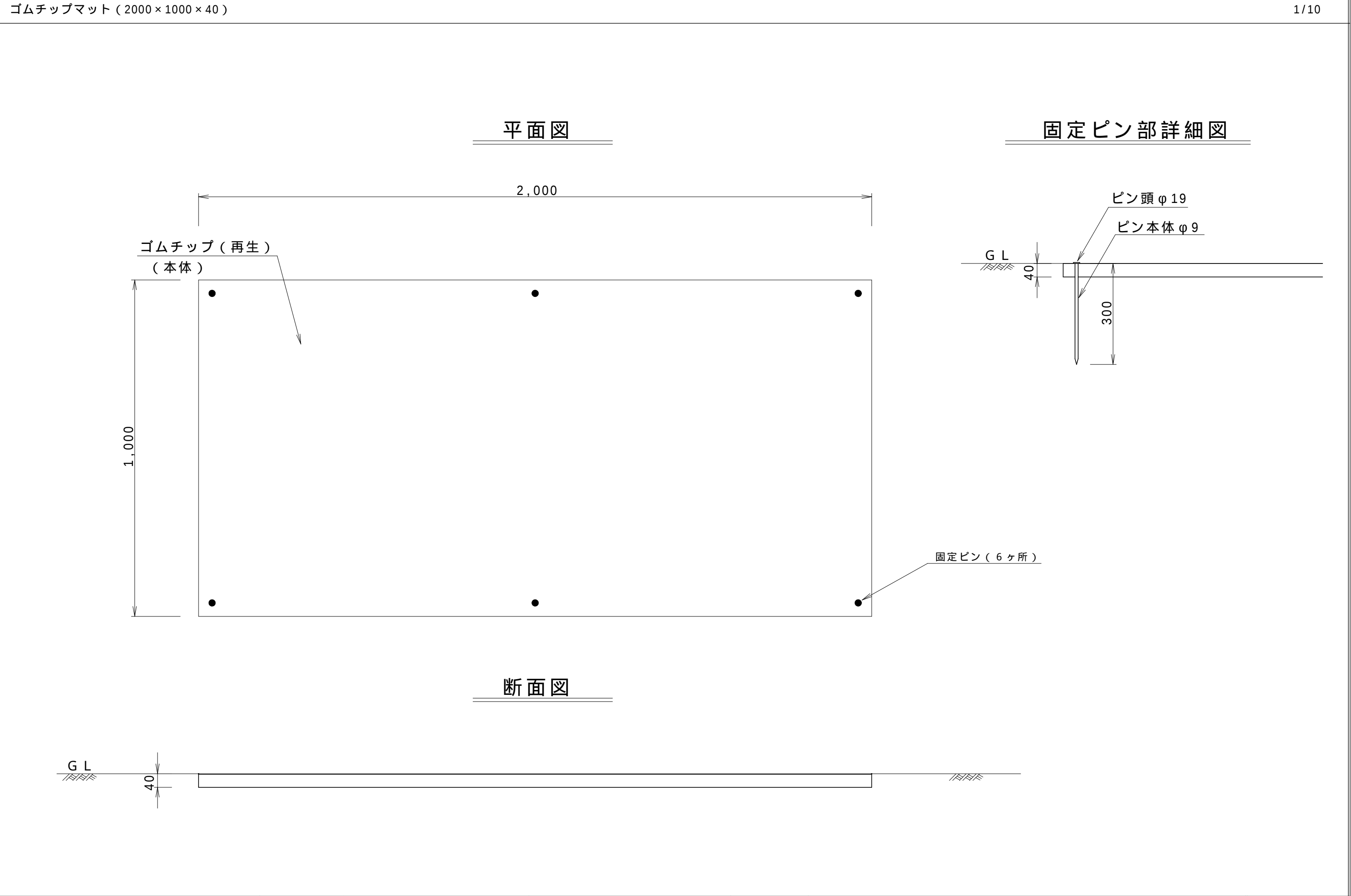
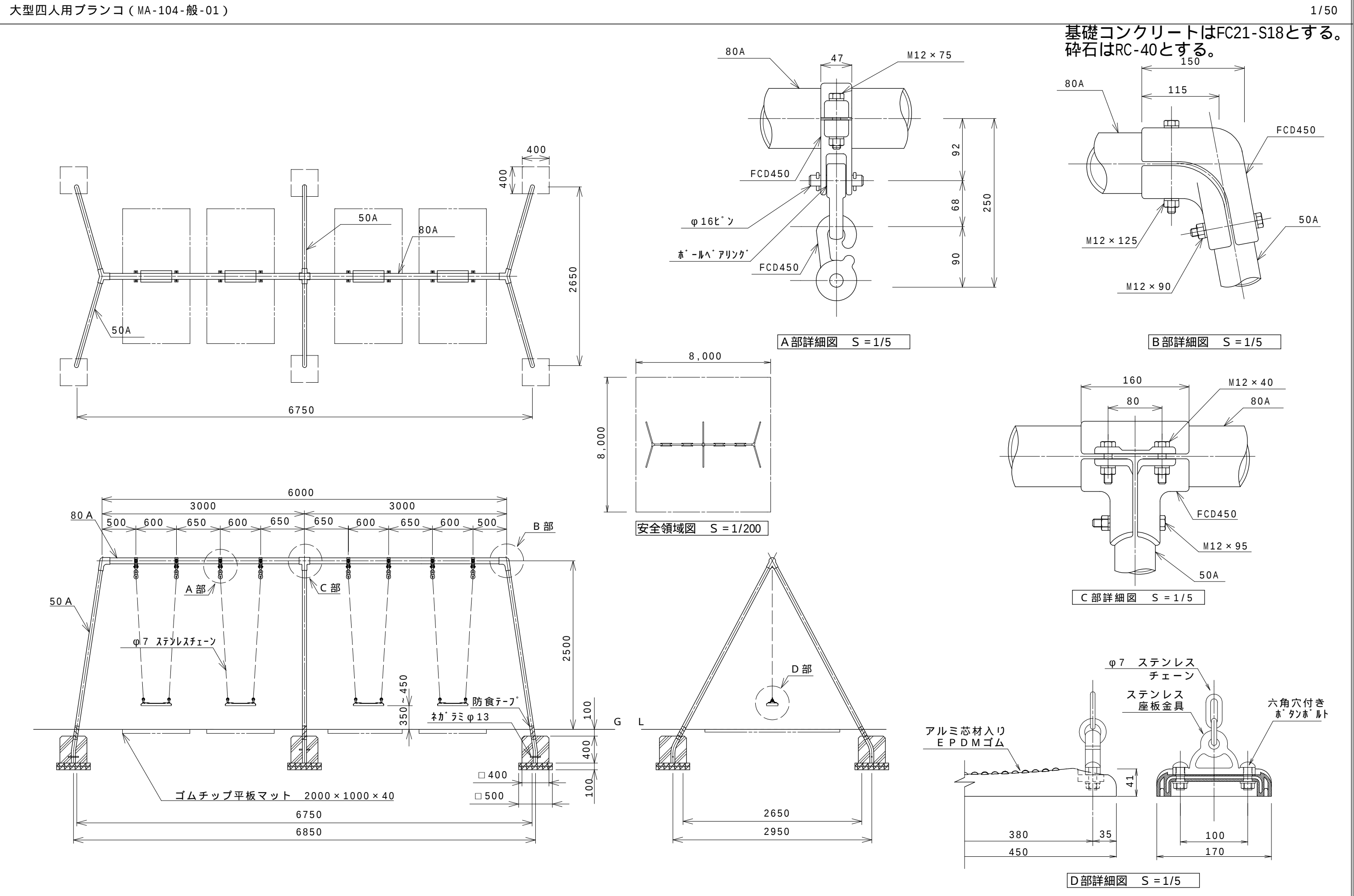
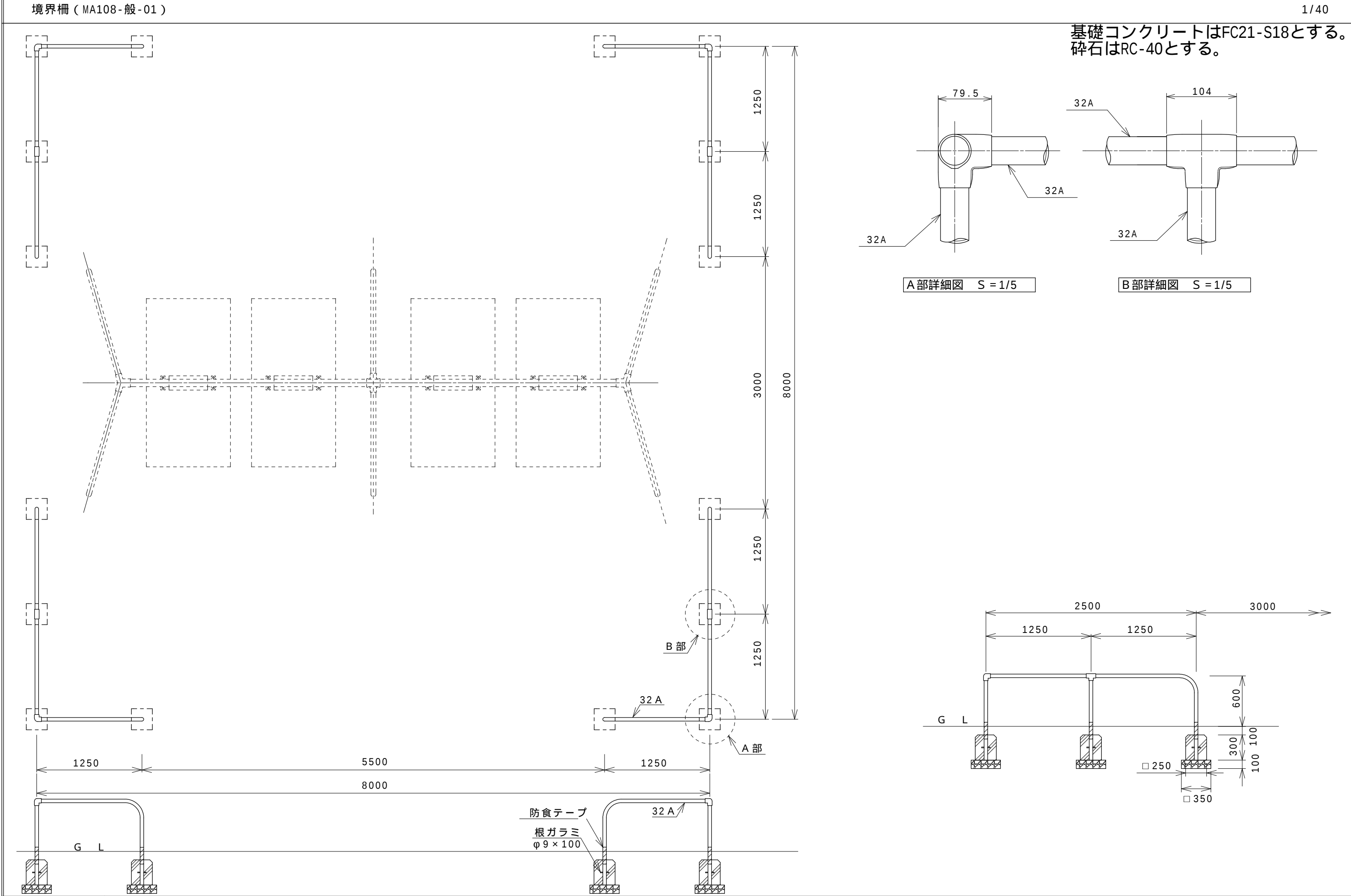
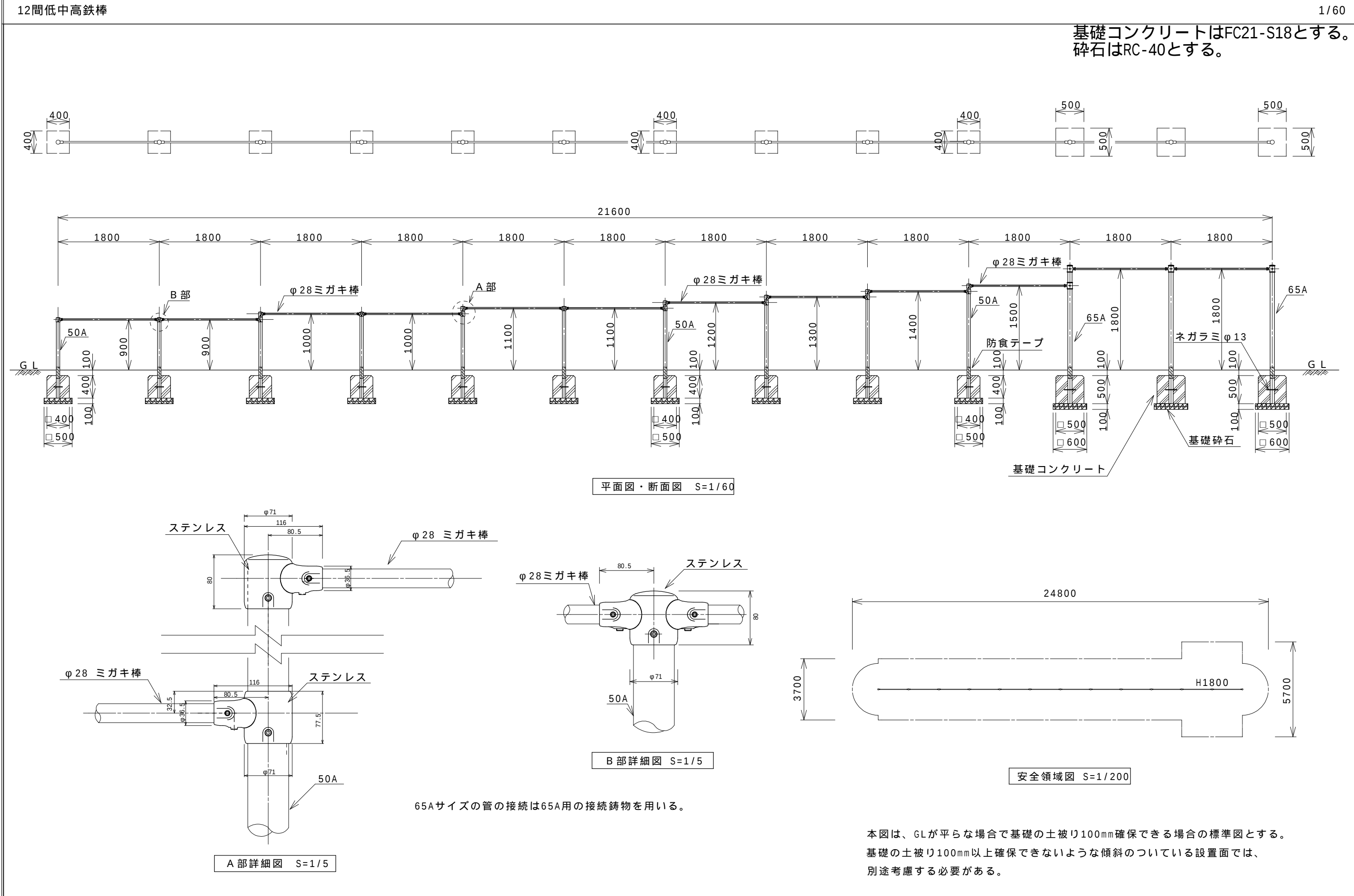


平面図 S = 1 : 3 0

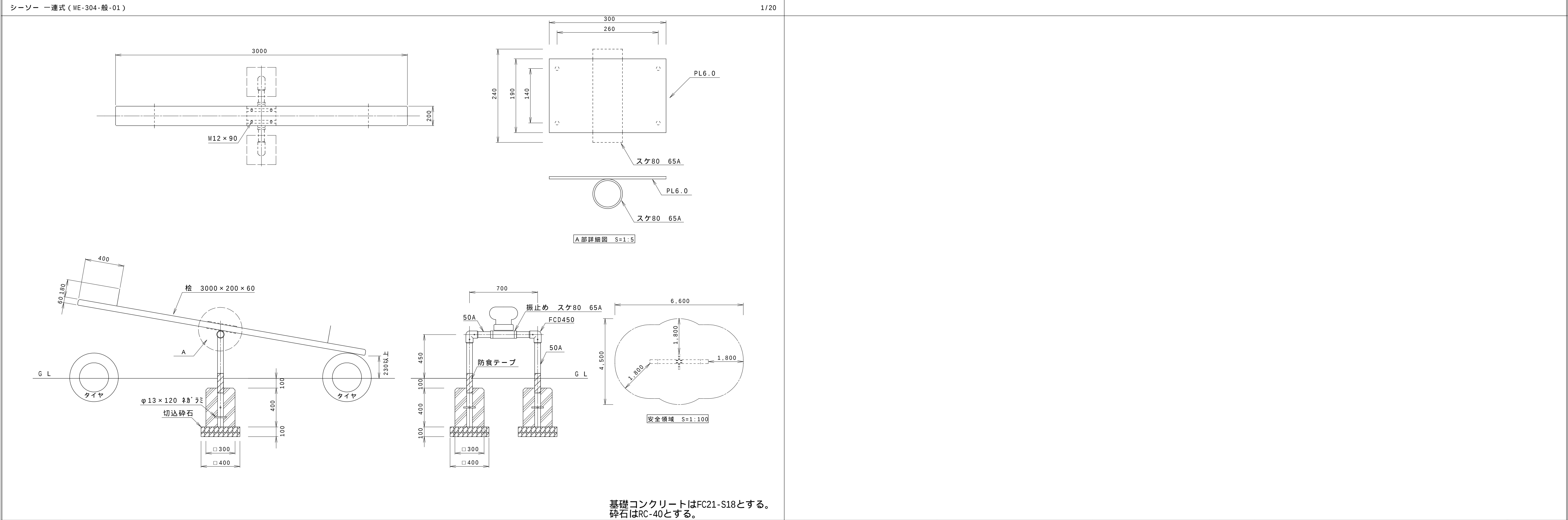
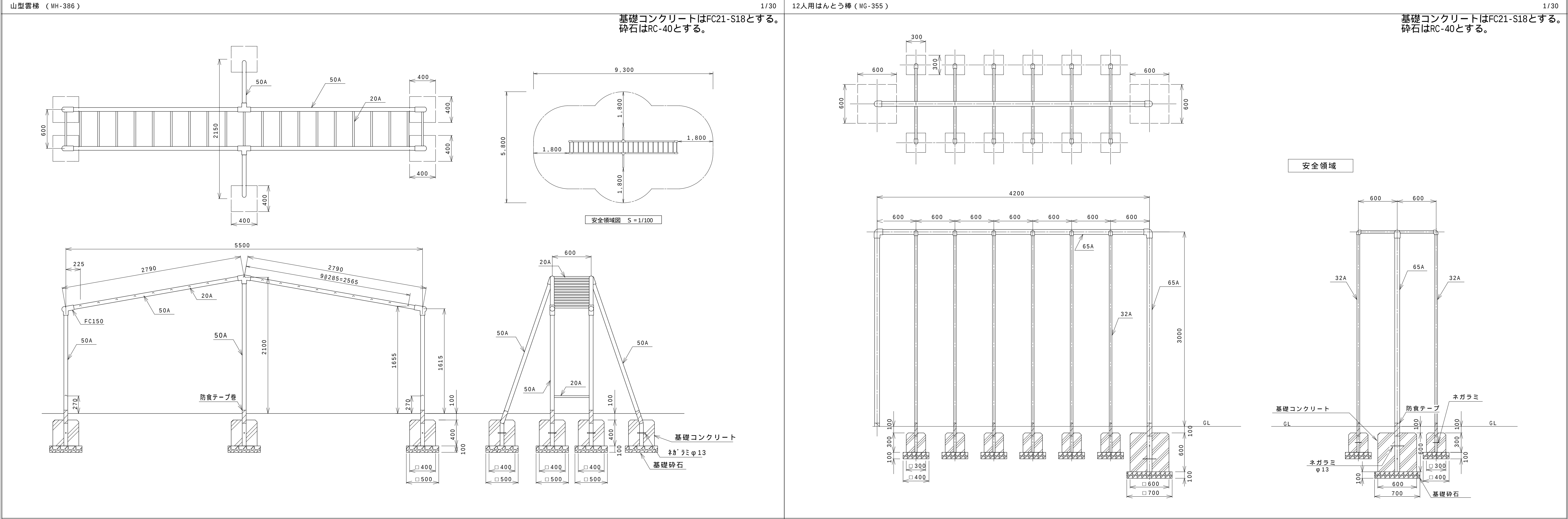


各種コンクリートはFC21-S18とし、
均しコンクリートのみFC18-S18とする。

	特記事項			設計年月日	年	月	日	工 事 名	大和町立吉岡小学校外構工事		図 面 番 号
				管理技術者	担 当 者	作 図		図 面 名	グラウンド詳細図-1	縮 尺	G - 0 7
										A1: 図示 A3: 図示	
									株式会社 桂 設 計	一級建築士登録 第324846号 長南 京子	



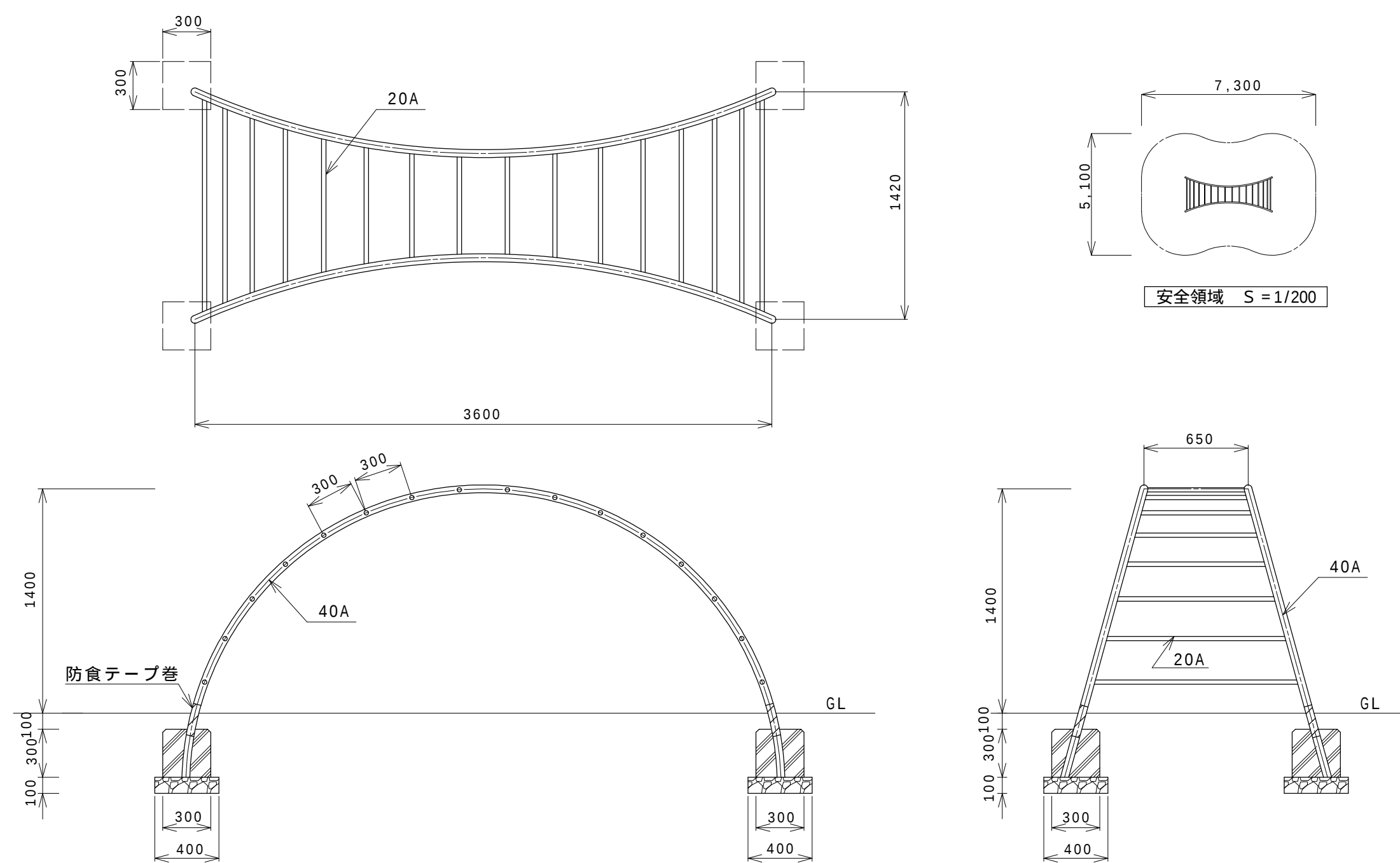
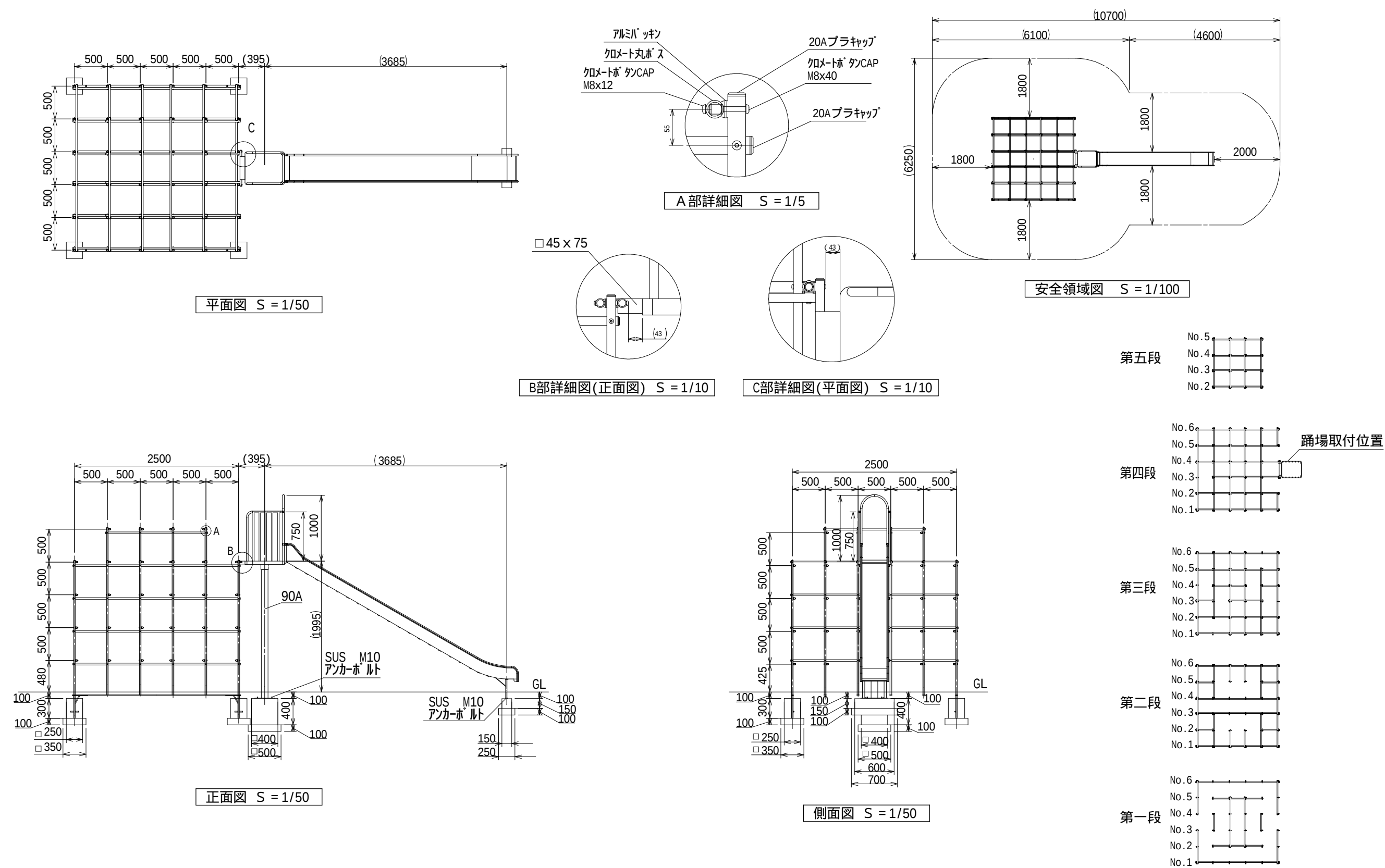
	特記事項			設計年月日 年 月 日			工 事 名 大和町立吉岡小学校外構工事			図 面 番 号	
				管理技術者 担 当 者 作 図			図 面 名 遊具詳細図-1		縮 尺 A1: 図示 A3: 図示		
							株式会社 桂 設 計		一級建築士登録 第324846号 長南 京子		



	特記事項			設計年月日 年 月 日			工 事 名 大和町立吉岡小学校外構工事		縮 尺 A1: A3: 図示 図示	図 面 番 号 A - 0 9
				管理技術者 担 当 者 作 図			図 面 名 遊具詳細図-2			
							一級建築士登録 第324846号 長南 京子			
							株式会社 桂 設 計			

基礎コンクリートはFC21-S18とする。
砕石はRC-40とする。

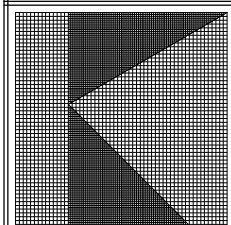
基礎コンクリートはFC21-S18とする。
砕石はRC-40とする。



材料

[illegible]

防食テープは地上部で10cm確保



特記事項

設計年月日	年	月	日
-------	---	---	---

管理技術者	担 当 者	作 図
-------	-------	-----

工 事 名	大和町立吉岡小学校外構工事
-------	---------------

圖面名	遊具詳細圖-3
-----	---------

縮 尺

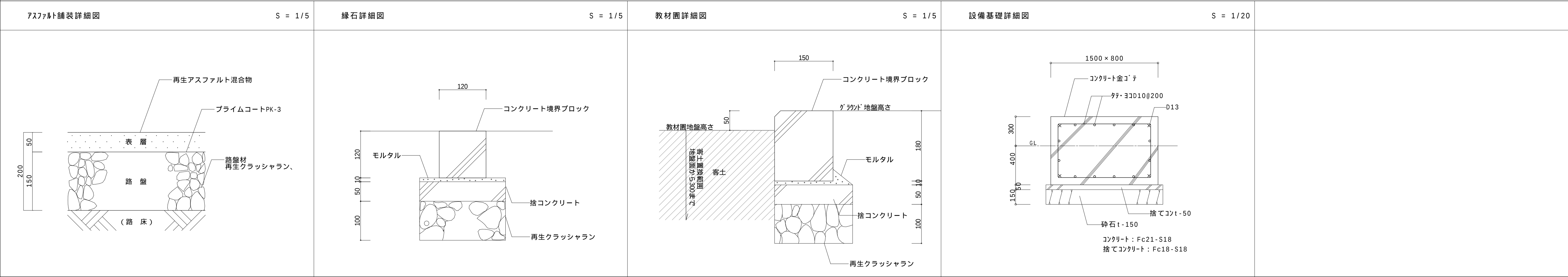
A1:	図示
A3:	図示

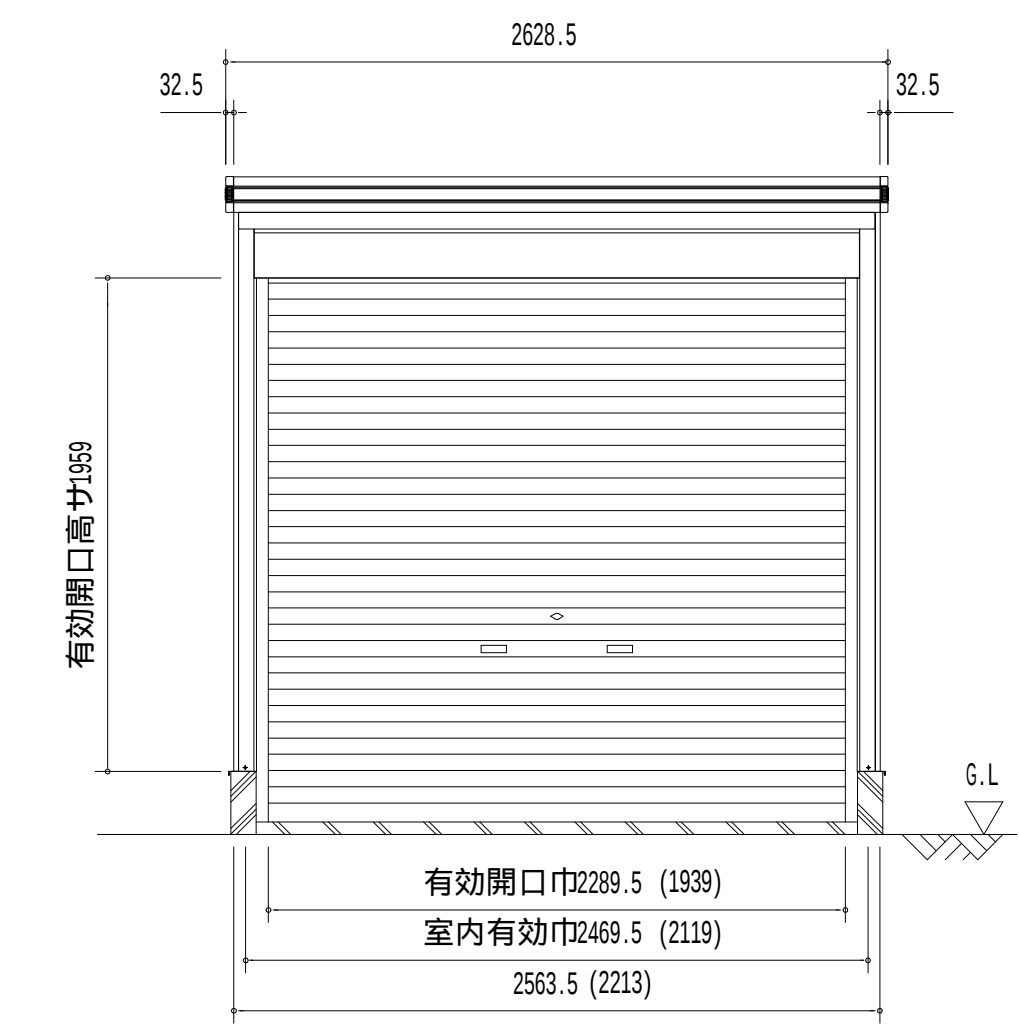
图面番号

A - 10

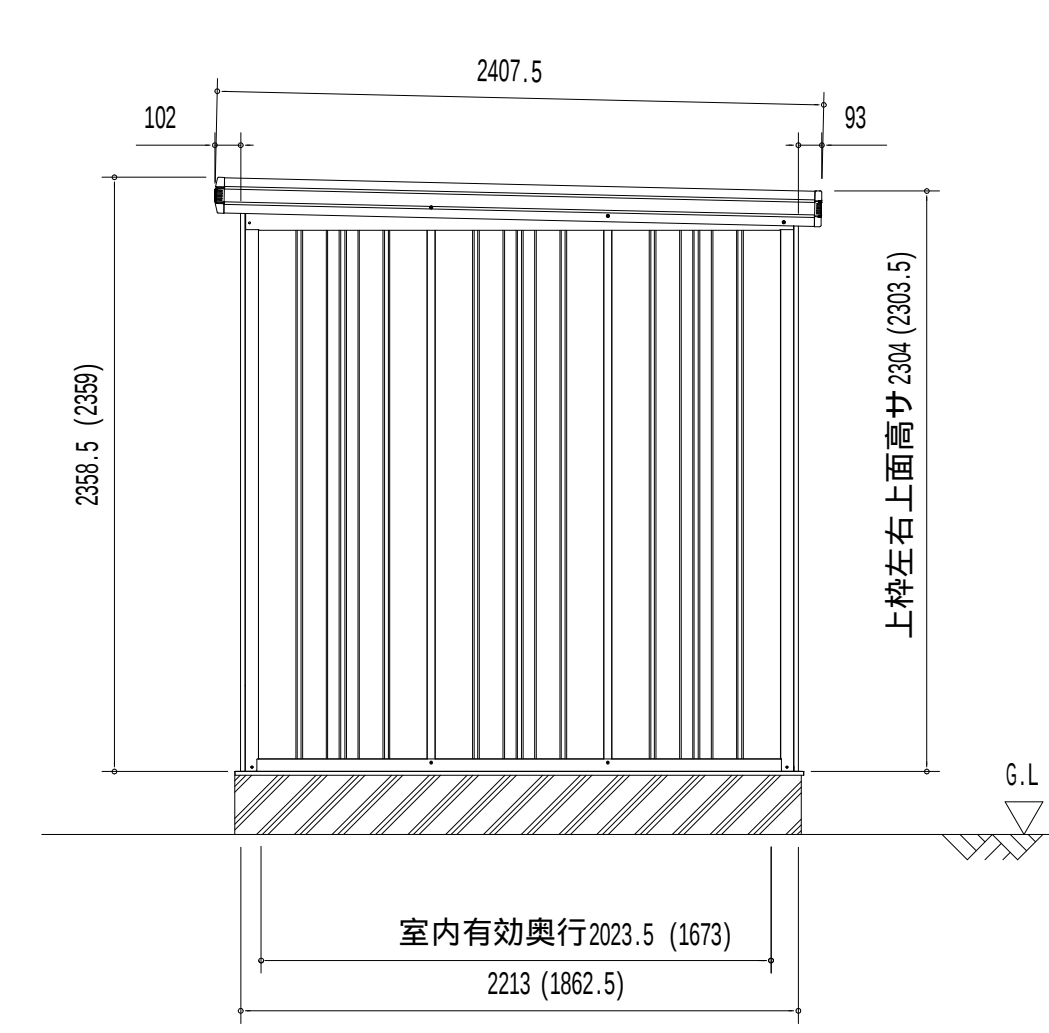
 株式会社 桂 設 計

一級建築士登録 第324846号 長南 京子

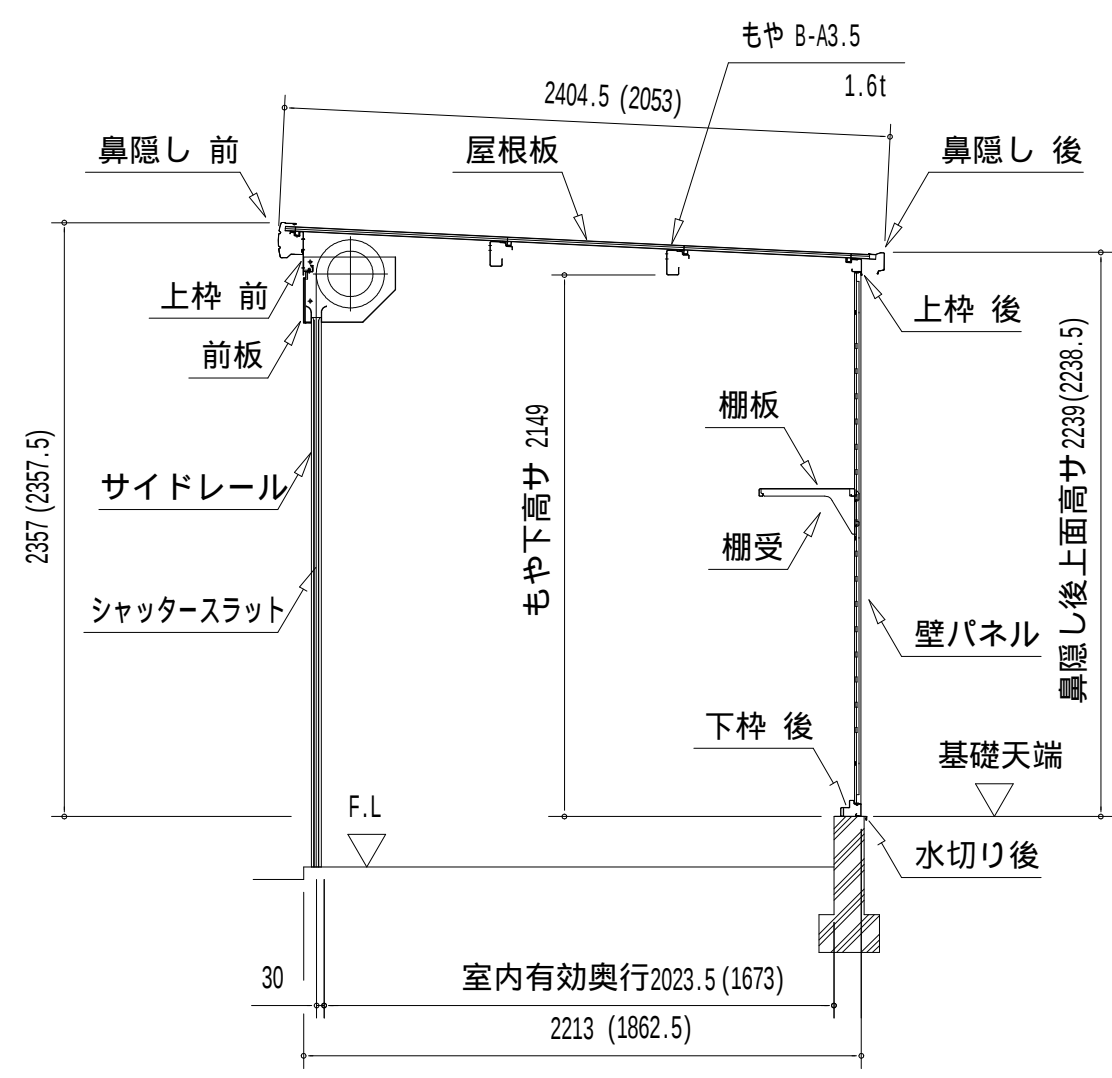




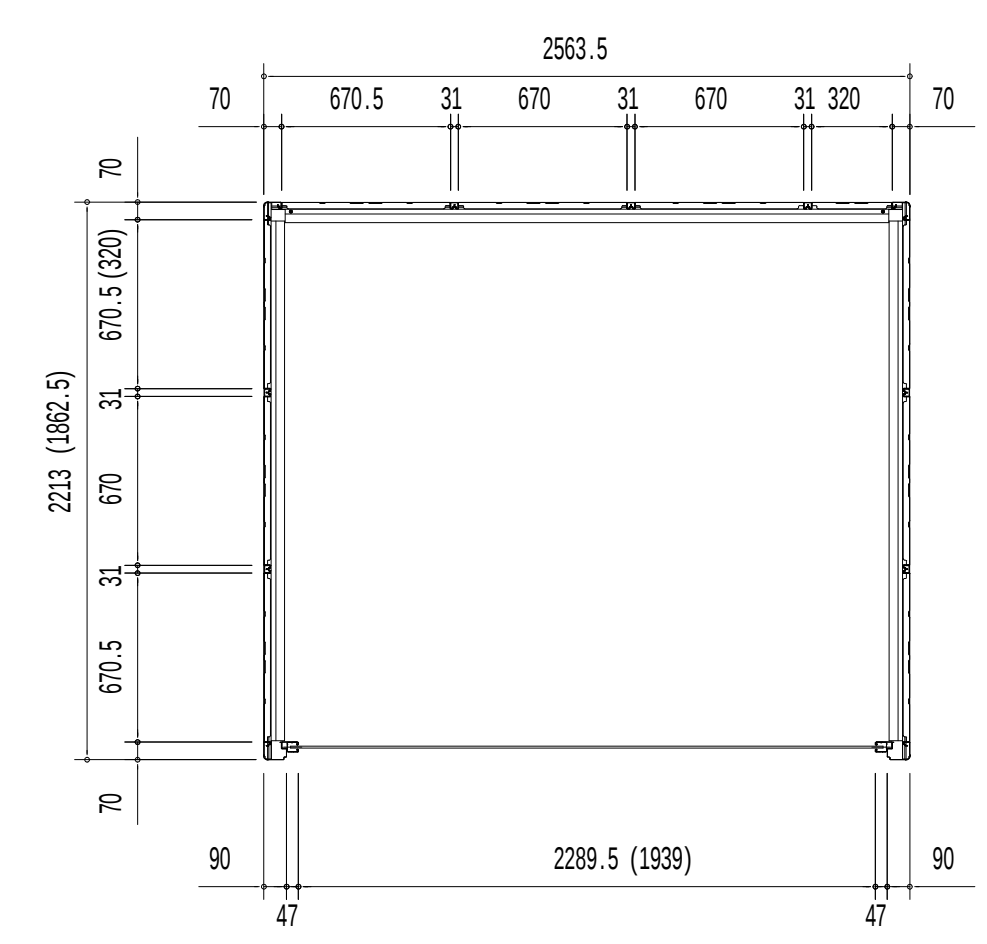
正面立面図 (S=1/50)



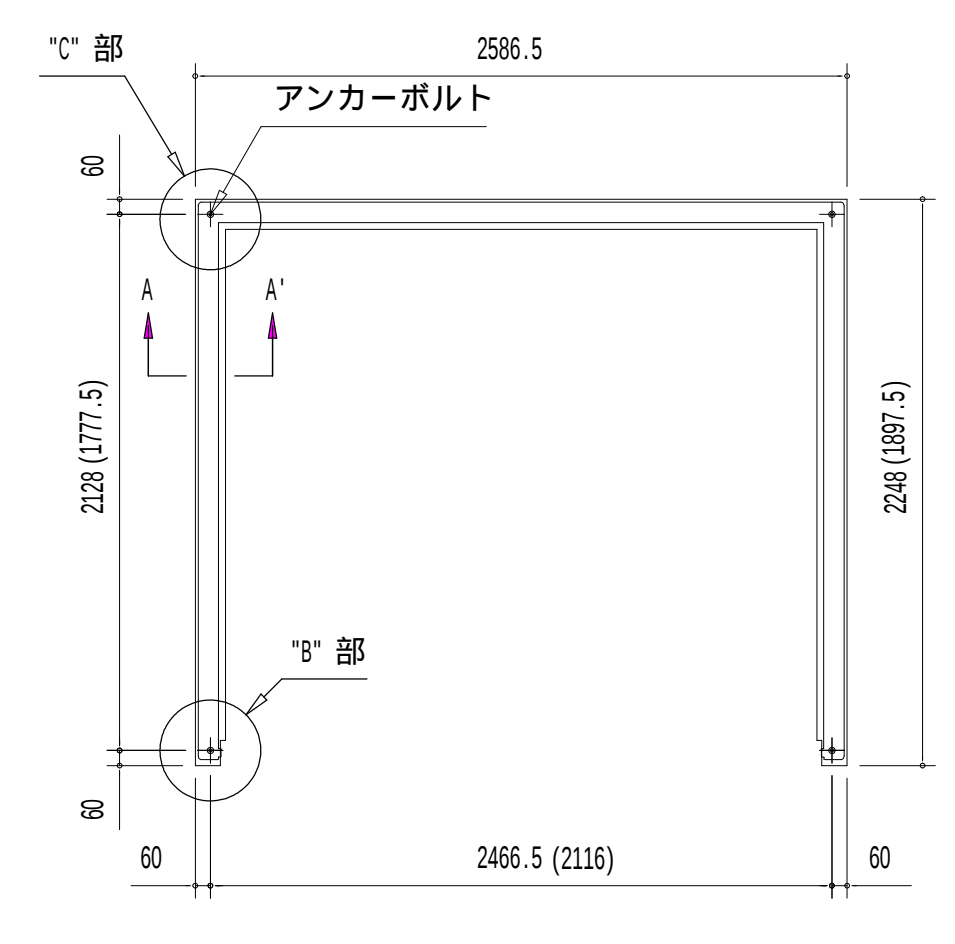
側面立面図 (S=1/50)



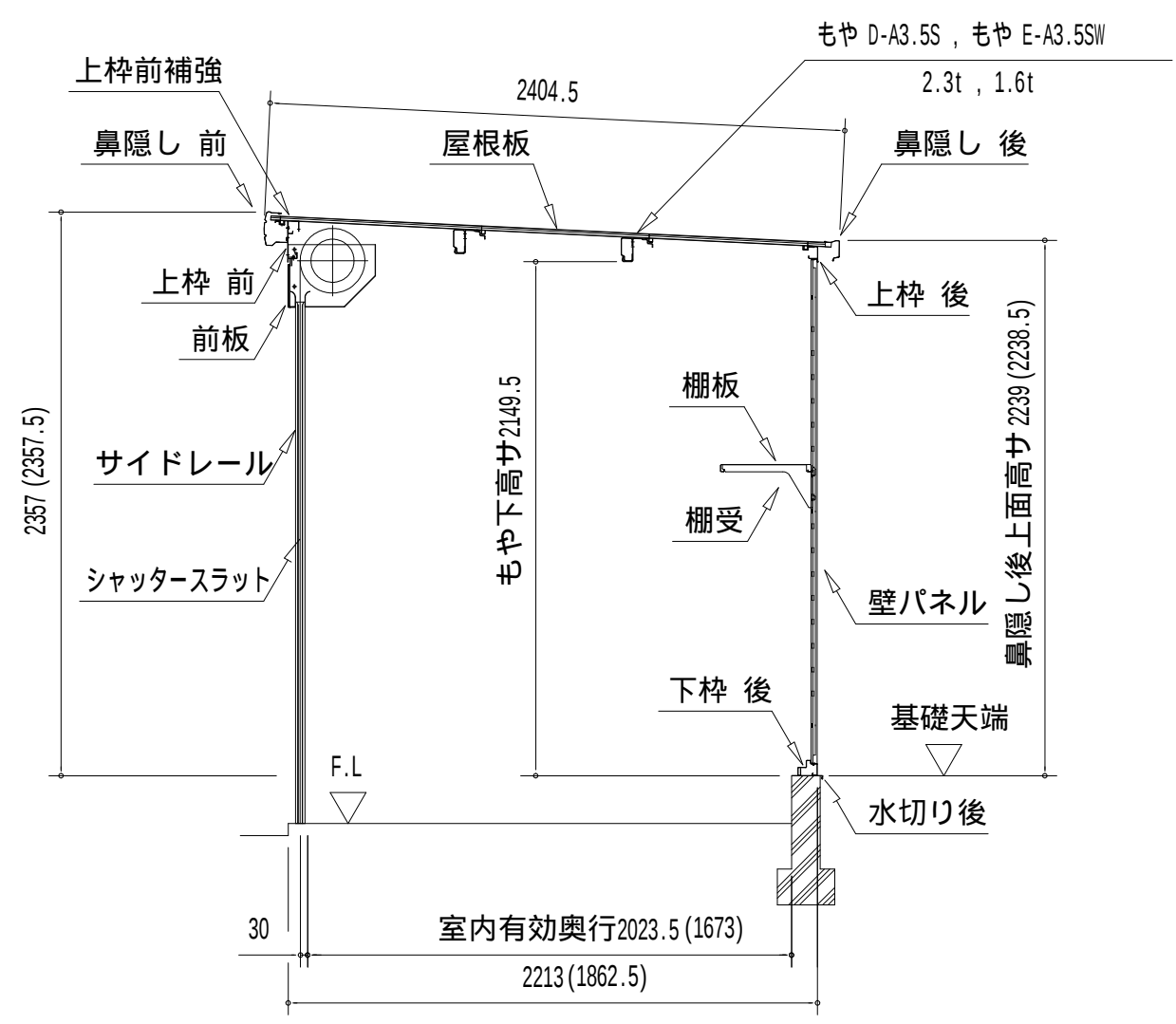
一般型矩計図 (S=1/50)



平面図 (S=1/50)



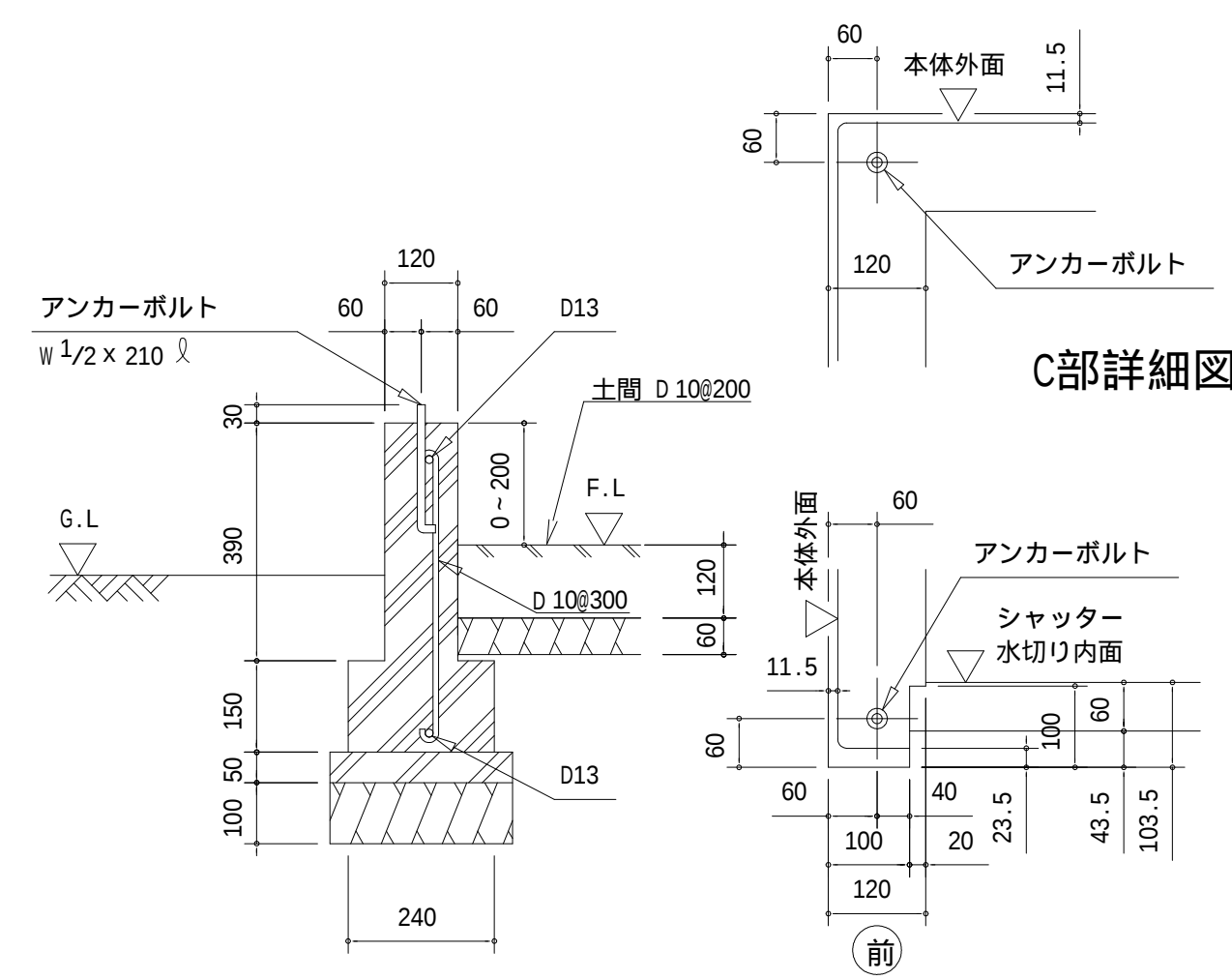
布基礎伏図 (S=1/50)



積雪型矩計図 (S=1/50)

部 材 名	厚さ ^{mm} /mm	材 質
屋 根 板	0.4	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLOC
<一般型>もや B-A3.5	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
<積雪型>もや D-A3.5S	2.3	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
<積雪型>もや E-A3.5SW	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
下枠側・後	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLOC
上 枠 前 (後)	1.0 (0.8)	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLOC
上枠前補強 (積雪型のみ)	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLOC
上 枠 左,右	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLOC (ツートンカラー)
鼻 隠 し 前	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLOC (ツートンカラー)
鼻 隠 し 後	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLOC
前 板	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLOC
柱	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLOC
シャッタースラット	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLOC
シャッター水切り	-	アルミニウム合金押出型材
壁 パ ネ ル	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLOC
間 柱 後・側	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLOC

部 材 名	サイズ (巾×高さ)
壁パネル H-A	670 × 2110
壁パネル H-F	319.5 × 2110



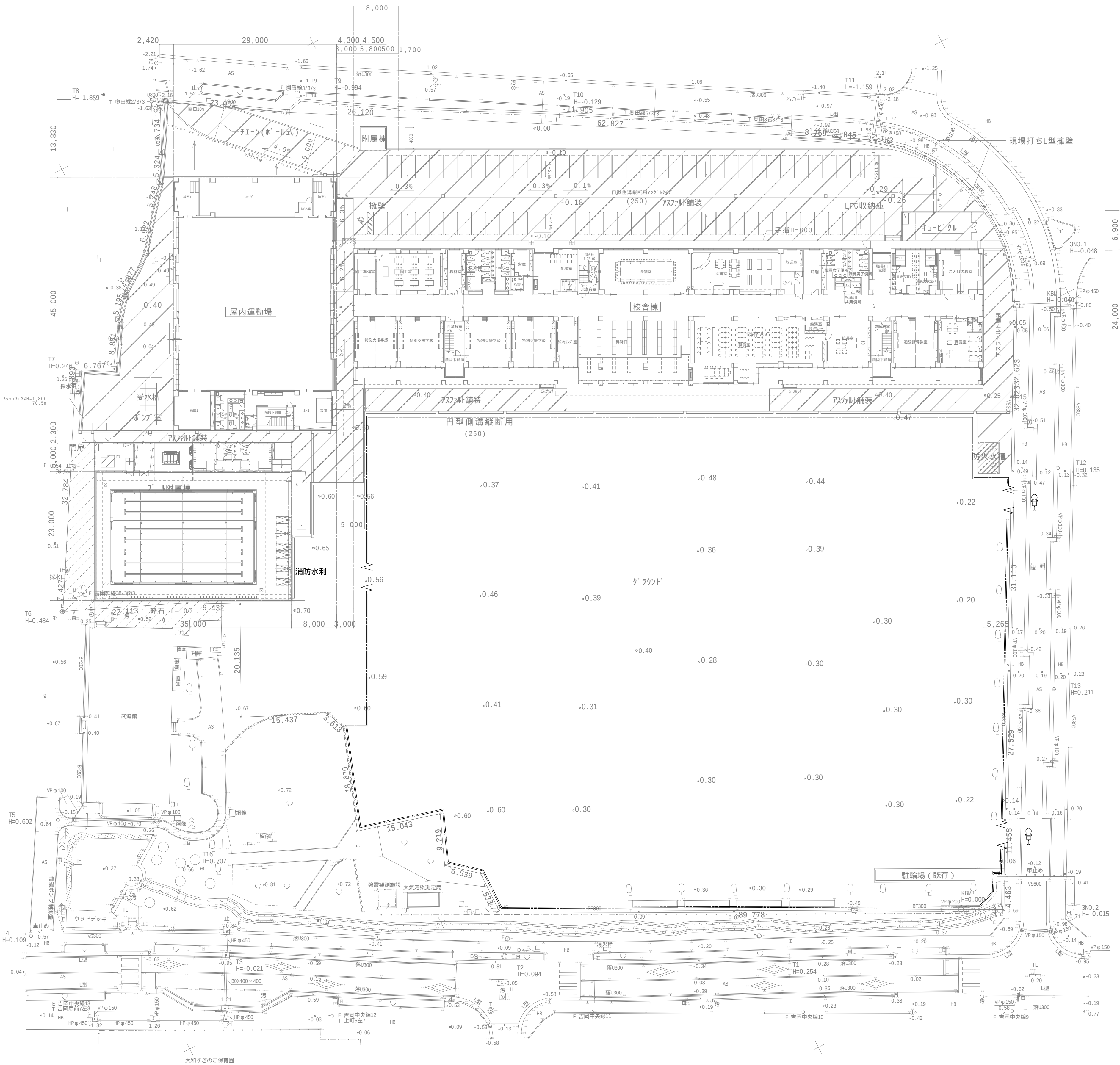
A~A'断面
布基礎断面図例 (S=1/20)



B部詳細図 (S=1/15)

平板載荷試験を行い、地耐力が 50 KN/m² 未満 (30 KN/m² 以上) の場合、底盤幅を 300mm とし、かつ補強筋を入れること。

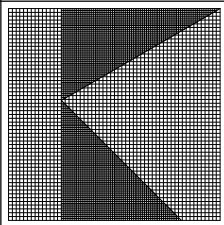
カッコ内は、除雪機倉庫1の寸法を示す。



仮設計画図 S = 1/400

記号	仕 様	参考数量
——	仮囲い：単管メッシュ・H=2.0m	386 m
⚡	キースターゲート W=6.0 H=1.8	3 か所
🚶	交通誘導員(常駐)	2 人

仮設計画は監督職員と協議の上決定とする。
工事車両により道路を汚さないように注意すること。



特記事項

設計年月日	年 月 日	工 事 名	大和町立吉岡小学校外構工事	図 面 番 号
管理技術者	担 当 者	作 図	縮 尺	G - 13
			A1: 1/400 A3: 1/800	
			株式会社 桂 設 計	
			一級建築士登録 第324846号 長南 京子	

